

会派視察研修報告書

平成28年11月29日

碧南市議会議長 様

会派名 日本共産党碧南市会議員団

代表者名 山口春美

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 3名 分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	山口春美、岡本守正、磯貝明彦
日時	平成28年11月14日（月）～平成28年11月16日（水）
視察先	石川県白山市、福井県小浜市、滋賀県米原市
研修内容	白山市：子ども権利憲章、18歳までの医療費無料化、子ども食堂について 小浜市：ビーチバレー、国体誘致、陸上競技場について 米原市：小中学校の空調設備設置、エレベーター設置、少人数学級について
日程	11/14 石川県白山市 14:00～16:00 11/15 福井県小浜市 14:00～16:00 11/16 滋賀県米原市 13:00～15:00
備考	



視察研修報告書

平成28年11月17日

議員氏名 山口 春美

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 平成28年11月14日（月）～平成28年11月16日（水）
- 2 視察先 石川県白山市、福井県小浜市、滋賀県米原市
- 3 視察の種類 会派視察研修（日本共産党碧南市会議員団）
- 4 視察の成果等

白山市

白山市子どもの権利に関する条例について

平成17年に1市2町5村が対等合併し白山市となった。人口11万人、面積755km²。3年間の準備を経て平成19年度から条例施行。全国10番目の制定となった。教職員への研修、子ども会議、小学校5年生・中学校2年生への意識調査。絵本づくり「へえーそうなんや、あなたはみんなのたからもの」など具体的な行動計画を経て、平成20年11月に子どもがつくった「子ども権利憲章」を議会で議決。子どもの権利委員会は、年3-4回。小中学生の「こども会議」は、1泊2日の合宿形式。年1回中学2年生18人が質問と答弁を行うこども議会も3年間継続している。①安心して生きる権利②守られる権利③よりよく育つ権利④参加する権利を、着実に浸透、実施している。

- 平成24～31年までに、19小学校、9中学校のエアコン設置
- 9小学校と4中学校に、エレベーター設置（車いす児童の就学保障）
- 学校図書館司書は正規で15名、非常勤12名の全校配置。図書館はいつも子どもでいっぱい。年間80万冊の貸し出しで、市の図書館と同数の貸出数となっている。子どもに寄り添い、成長を支える大人や行政の熱意が表れている。

18歳までの医療費無料化

平成26年10月診療分から入院費18歳まで無料化、平成27年4月から通院費も18歳まで無料に拡大し、月1,000円の自己負担を廃止。平成27年8月からは現物給付で、完全18歳までの無料化を実施。石川県は1,000円の自己負担分と4歳未満通院分しか補助していない。

子ども食堂について

全国319ヶ所に広がっている子ども食堂。白山市は平成28年夏から開始。材料は寄附、大人200円こども無料。社会福祉協議会が実施。主任児童委員20人、母子寡婦協会4人、大学生7人、高校生7人、ボランティア1人がスタッフ。7月31日、8月6日、8月26日、8月27日に4ヶ所で実施。子ども89人、親12人が参加。冬休み中にも4回予定。将来は定期的に、高齢者とも交流できるようにしていきたいと抱負を語られた。

視察研修報告書

平成28年11月29日

議員氏名 岡本 守正

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成28年11月14日（月）～平成28年11月16日（水）
- 2 視察先 石川県白山市、福井県小浜市、滋賀県米原市
- 3 視察の種類 会派視察研修（日本共産党碧南市会議員団）
- 4 視察の成果等

石川県白山市 人口112,618人 面積754.93km²

11月14日、白山市子ども権利憲章とそれに係る施策について、18歳までの医療費無料化、子ども食堂について。

平成15年3月松任市子どもの権利条例検討委員会を設置され全5回開催された。

平成16年11月報告会を開催。12月子どもの権利研修会をPTA、教職員対象に開催された。

平成17年2月市町村合併により白山市誕生。7月子どもの権利に関する市民意識調査の実施（小・中・高校生）。9月白山市子ども会議に11月報告会を開催することを決めた。

平成19年4月白山市子ども権利に関する条例施行と白山市子ども相談室開設。8月教員対象に子ども議会の研修会。11月PTA対象に子ども議会の研修会と子どもの権利に関する市民意識調査を小5年全員、中2年全員に実施、以後、毎年市民意識調査を行っている。

平成20年白山市子どもの権利に関する行動計画の策定。7月白山市子ども会議開催し、白山市子ども憲章制定する。11月白山市子ども憲章制定。子ども権利啓発絵本作りを行い、3歳児検診に配布した。

平成21年6月子ども議会を開催し、子どもの権利啓発ビデオ作りの意見交換会を行い、11月にビデオ完成し配布を行う。

平成22年10月「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2010に参加。

子どもの権利の意識向上のために、条例パンフレットを市内全小中学校の児童生徒に配布し、そのほか高校、保育所、子どもに関する施設等にも配布していた。現在では、毎年小学1年生、小学4年生、中学1年生全員に4月に配布している。

このように、絶え間なく子どもの権利に関する意識の向上が続けられていました。碧南市においては、子ども議会がほとんど開かれていません。子どもの権利を大切にする、市民を大切にする市政を推し進めたい。

3種競技場を維持している。

碧南緑地に建設予定の協議中であるビーチコートも愛知県が2026年のアジア大会の開催候補地としている。県が建設しそれをトヨタ自動車が支援すべきです。また、陸上競技場は海風のない油ヶ淵公園予定地内に建設すべきです。

滋賀県米原市人口39,980人、面積250.46km²

小中学校の空調設備設置について。

米原市には、平成26年度小学校9校、平成27年度中学校6校、全て空調設備が完備された。暑さは29℃、寒さは18℃、それぞれ職員室で調整している。空調は冷房より暖房のほうを長期使用するため、熱源はガスだった。1校は、すでに電気式の空調が整備されているのでそのまま。屋内運動場には設置されていない。

小中学校のエレベーター設置について。

平成17年の合併後、市内小中学校に肢体不自由等で階段が利用できない児童生徒が通学する時期に合わせてエレベーター設置工事を行っている。小学校9校は全て設置済み。中学校6校中5校は設置済みで1校は平成30年に予定されている。トイレの洋式化は小中学校ともに70%以上。

少人数学級について。

米原市は27年度から、市費で少人数学級を全小中学校で行っている。少人数学級教育の成果を検証した。児童のアンケート調査では少人数学級に対する肯定的回答が、11月には82.7%になった。保護者アンケート調査でも80%以上の方が少人数指導を支持されている。少人数学級臨時講師決定は勤務条件等も有りかなり厳しいが採用している。27年度は小学校3クラスだったので、臨時講師3人賃金8,162,318円。

米原市小中学校の空調設備は平成25年9月の補正予算と国の学校施設環境改善交付金、平成26年2月補正予算で、平成26年8月末に小学校9校の整備が完了した。平成27年8月末に中学校の整備を完了した。米原市は児童生徒の学校教育環境改善で空調設備、エレベーター設置され、さらに、学びやすい学校に進められていた。碧南市教育長は、小中学校の児童生徒を甘やかせてはいけない、エアコンは設置しないと答えています。

視察研修報告書

平成28年11月18日

議員氏名 磯貝 明彦

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成28年11月14日（月）～平成28年11月16日（水）
- 2 視察先 石川県白山市、福井県小浜市、滋賀県米原市
- 3 視察の種類 会派視察研修（日本共産党碧南市会議員団）
- 4 視察の成果等

石川県白山市

白山市では国の「児童の権利に関する条約」をもとに、「白山市子どもの権利に関する条例」を平成19年に施行しています。この条例に伴って「子ども憲章」がつくられ、毎年小1・小4・中1の生徒に手渡されています。そして、毎年、小中学生からメンバーを募り、テーマを設け、1泊2日程度で身近な問題や改善の討議を行う「子ども会議」が行われています。また、平成26年度より「子ども議会」を開催して、子どもの視点からの市民生活と行政の関わりや身近な課題について考え、市議会の模擬体験を通じて自らの言葉で質疑応答を行うことにより、子どもの考えを市の施策に反映させる機会としています。

白山市では、これまで通院医療費・入院医療費共に15歳まで月1,000円の自己負担を求めてきました。そんな中、県内市町でも対象年齢拡大をする機運の高まりもある中で、平成26年10月診療分より入院費分を18歳までに、さらに平成27年4月診療分からは通院分についても18歳まで拡大し、同時に自己負担も撤廃しました。さらに、27年8月診療分からは現物給付方式を導入し、実質ともに窓口無料化を実施しています。

白山市では、食事を通じて、孤立や困窮を抱える子どもたちを見守り、多人数で食卓を囲む楽しさを体験させるとともに、子ども同士の交流や保護者の情報交換の場を提供する目的としての「子ども食堂」が行われています。この運営は社会福祉協議会、大学生・高校生などのボランティア、児童委員などであり、食材などは地元農家からの寄付でまかっています。